

令和 3(2021)年度
伊丹市環境基本計画(第 3 次)
年次報告書



昆陽池公園に飛来したコウノトリ

令和 4(2022)年 9 月
伊丹市

本書について

伊丹市では、「伊丹市環境基本計画(第3次)」(2021年3月策定)(以下、「本計画」という。)にて定めた、気候変動、循環型社会、自然共生・生物多様性、都市環境、人づくりの5つの基本目標に基づき、各種事業や活動を展開することとしています。

伊丹市環境基本計画(第3次)年次報告書は本計画における目標の達成状況や各種事業及び活動の実施状況について整理をし、適宜、取組内容の改善を図ることを目的として毎年作成・公表するものです。

このたび、「伊丹市環境基本計画年次報告書(2021年度)」が、完成しましたので公表いたします。

目次

伊丹市環境基本計画(第3次)の施策体系	1 ページ
基本目標 1 気候変動に対応するまち	3 ページ
基本目標 2 資源が循環する環境に配慮したまち	5 ページ
基本目標 3 自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち	7 ページ
基本目標 4 良質な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち	9 ページ
基本目標 5 環境意識と協働の輪が広がるまち	11 ページ
参考指標の進捗状況	13 ページ

伊丹市環境基本計画（第3次）の施策体系

環境の
将来像

基本目標（成果指標）

自然と都市機能が調和した快適でうるおいのあるまち

【気候変動】

気候変動に対応するまち



成果指標

	現状(2019年度)	目標(2028年度)
①本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量	24,619 t-CO ₂	22,505 t-CO ₂
②浸水対策達成率	83.83 %	84.26 %

【循環型社会】

資源が循環する環境に配慮したまち



成果指標

	現状(2019年度)	目標(2028年度)
①発生抑制率	4.9 %	10.9 %
②資源化率	17.5 %	18.6 %
③最終処分量（埋立量）	7,020 t	6,719 t

【自然共生・生物多様性】

自然環境と共生し生物多様性が
保全されるまち



成果指標

	現状(2019年度)	目標(2028年度)
①みどりに対する市民満足度	— %	80 %
②在来生物の種類数	188 種	193 種
③自然緑化活動等に参加している団体数・参加人数	125 団体, 494 人	125 団体, 700 人

【都市環境】

良質な都市空間の整備と生活環境が
保全されるまち



成果指標

	現状(2019年度)	目標(2028年度)
①環境基準達成率（水質（BOD））	100 %	100 %
②地域清掃活動支援件数	771 件	1,100 件
③景観に対する市民満足度	79.9 %	80 %
④交通ネットワークに対する市民満足度	72.4 %	73 %

【人づくり】

環境意識と協働の輪が広がるまち



成果指標

	現状(2019年度)	目標(2028年度)
①環境イベント・講座等に参加した人数	4,969 人	5,250 人
②緑化や自然保護活動に参加した市民の割合	— %	10 %

施策の方向性

事業

①気候変動の緩和策

- 行政の率先行動の推進
- 市民・事業者への活動促進
- 市営バス・自転車利用の推進

②気候変動の適応策
(重点プロジェクト)

- 異常気象による浸水対策及びヒートアイランド対策
- 熱中症・感染予防対策に関する普及啓発
- 災害時におけるエネルギー確保の検討

③廃棄物の発生抑制・再使用等の
推進

- ごみの発生抑制・再使用の推進
- 適正分別・リサイクルの推進
- 事業者への3R推進
- プラスチックごみの発生抑制
- 適正処理の推進

④食品ロスの削減
(重点プロジェクト)

- 食品ロス削減の推進

⑤みどりの充実

- 魅力ある公園緑地づくり
- 身近なみどりの充実

⑥生物多様性の保全

- 生物多様性に関する正しい知識の普及
- 生物多様性の保全及び再生
- 野生生物の保全管理及び侵略的生物への対策

⑦生活環境の保全

- 監視・指導・啓発等の継続実施

⑧良質な都市空間と住環境の形成

- 環境美化活動の推進
- 環境に配慮した都市の形成
- 都市農業の推進
- 良好な景観誘導

⑨安全で快適な道路空間の整備

- 都市計画道路・自転車レーン等の整備
- 交通安全に関する普及啓発

⑩多様な主体が連携協力する体制の
推進 (重点プロジェクト)

- パートナーシップの推進及び活動の場・機会の創出
- 環境と経済の共生

⑪環境教育・環境学習の推進

- 環境教育・環境学習の充実
- 環境情報の収集・提供

基本目標1

気候変動に対応するまち

■成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019年度)	指標の 性質※	2021年度 実績	目標 (2028年度)
① 本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量	24,619 t-CO ₂	↓	25,404 t-CO ₂	22,505 t-CO ₂
② 浸水対策達成率	83.83%	↑	83.86%	84.26%

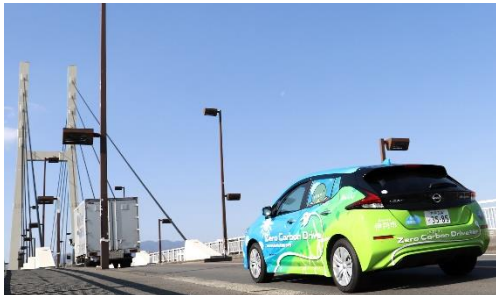
※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性① 気候変動の緩和策

■2021年度 の主な取組

Do

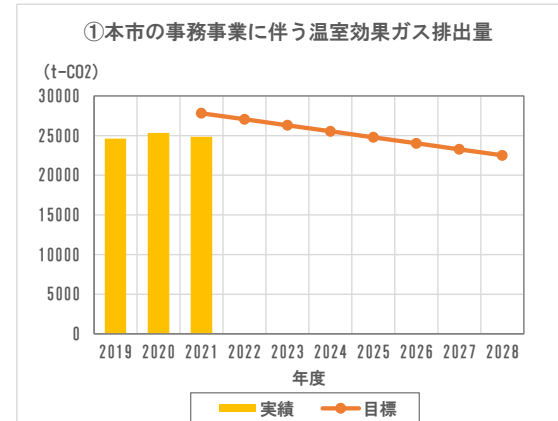
- ・市役所本庁舎等 3 施設に再生可能エネルギー100%電力(再エネ電力)を導入した。また、本庁舎に電気自動車1台を導入し、再エネ電力で充電することで、走行時に温室効果ガスを排出しないゼロカーボン・ドライブを実現した。



- ・脱炭素社会の実現に向けたライフスタイルの変革のため、環境啓発イベントや啓発動画の製作・放映、広報伊丹掲出、伊丹市営バス広告掲出、公用電気自動車ラッピング等を実施した。



Check



- ①本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、省エネ・節電の取組を推進したものの、新型コロナウイルス感染症対策のための適切換気等の影響により、ほぼ横ばいで推移しているが、2021年度は単年度目標を達成した。

- ・全ての公共施設において、軽装勤務や適正冷房等のクールビズの取組の一環として、「エコスタイルいたみ」を実施した。



■2022 年度以降の主な取組

Action

- ・各自動車メーカーの電気自動車等開発状況を踏まえ、更新車両への導入を検討する。
- ・公共施設対象に再エネ発電設備導入ポテンシャル調査を実施し、ポテンシャルのある施設を把握する。

施策の方向性② 気候変動の適応策（重点プロジェクト）

■2021 年度の主な取組

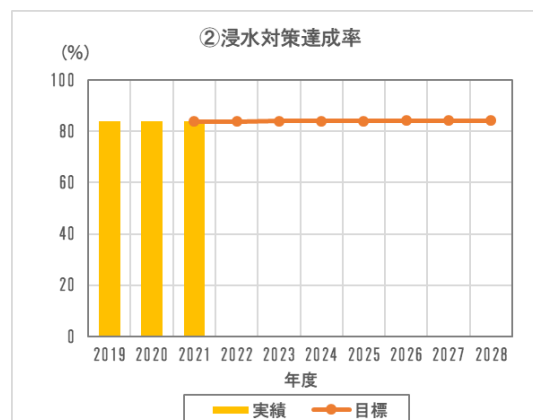
Do

- ・市民団体と連携しグリーンカーテン用のゴーヤの苗の育成・配布を行った。また、公共施設（保育園等）にてグリーンカーテンを作り、身近な暮らしの中でできる環境配慮行動を実施した。



- ・歩道における透水性舗装の整備を市道中央 6003 号線、市道中央 6004 号線及び市道中央天津線（産業道路より西側）で実施した。

Check



②浸水対策達成率は、伊丹市計画降雨強度 46.8mm に対して未整備地区である船原地区において雨水管渠の布設を実施したことにより、2021 年度は単年度目標を達成した。

■2022 年度以降の主な取組

Action

- ・気候変動への適応策のうち熱中症予防について、各種救急講習、市ホームページ、広報伊丹、FMいたみ及びリーフレット等の各媒体を利用し、新型コロナウイルス感染症を想定した新しい生活様式に対応した普及啓発活動を実施する。
- ・道路整備事業における歩道の整備にあたり、（都）塚口長尾線、（都）山田伊丹線及び市道中央天津線（産業道路より東側）において透水性舗装の整備を推進する。

基本目標2

資源が循環する環境に配慮したまち

■成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019年度)	指標の 性質※	2021年度 実績	目標 (2028年度)
① 発生抑制率	4.9%	↑	6.9%	10.9%
② 資源化率	17.5%	↑	17.8%	18.6%
③ 最終処分量(埋立量)	7,020t	↓	6,705t	6,719t

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性③ 廃棄物の発生抑制・再使用等の推進

■2021年度 の主な取組

Do

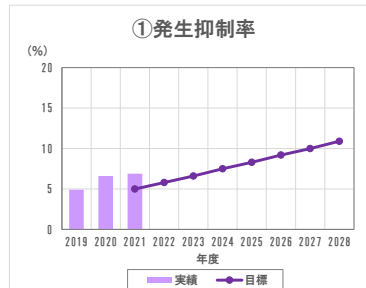
- ・家庭から排出される生ごみの減量・再資源化を図るため、生ごみを利用して堆肥を作るダンボールコンポスト事業を実施した。(応募者数：90名)



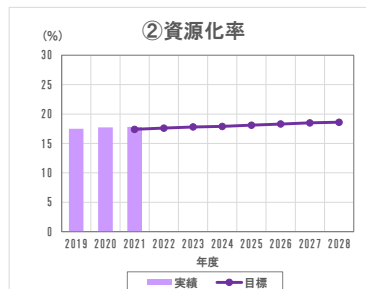
- ・プラスチックごみの減量のため、給水スポットをスワンホールに1箇所(伊丹市内2箇所目。2020年度に上下水道局庁舎に1箇所設置。)設置した。(使用回数：2952回、500ml ペットボトル換算：2,066本)



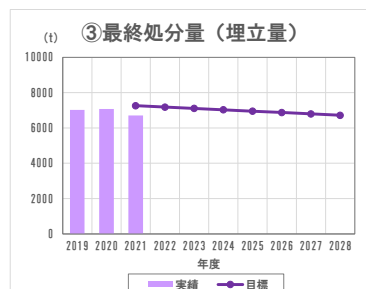
Check



①発生抑制率は、増加傾向にあり、2021年度は単年度目標を達成した。



②資源化率は、緩やかな増加傾向にあり、2021年度は単年度目標を達成した。



③最終処分量(埋立量)は、緩やかな減少傾向にあり、2021年度は単年度目標を達成した。

■2022 年度以降の主な取組

Action

- ・使用済小型家電回収ボックスを 2 箇所新設し、市民の利便性を向上させ回収量の増加を推進する。
- ・新たに伊丹スカイパーク、緑ヶ丘体育館、伊丹スポーツセンター、市役所新庁舎（1 階と 5 階）の 5 箇所に給水スポットを設置し、マイボトルの利用促進とプラスチックごみの減量を推進する。

施策の方向性④ 食品ロスの削減（重点プロジェクト）

■2021 年度の主な取組

Do

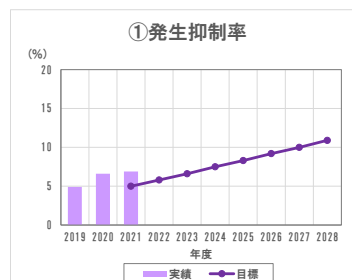
- ・廃食用油・乾電池等の回収を行っている市内 9 箇所の拠点において、同じ回収曜日・時間にフードドライブを開始した。（実施回数：45 回、協力者数：169 名、食品回収量 460.57 kg）



- ・市民団体と協働して市役所本庁舎等でフードドライブを実施した。（実施回数：1 回、協力者数：49 名、食品回収量：142 kg）

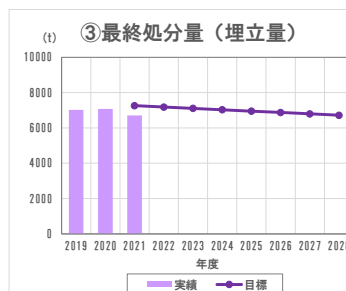
Check

（再掲）



①発生抑制率は、増加傾向にあり、2021 年度は単年度目標を達成した。

（再掲）



③最終処分量（埋立量）は、緩やかな減少傾向にあり、2021 年度は単年度目標を達成した。

■2022 年度以降の主な取組

Action

- ・2022 年 5 月から新たに拠点回収場所を 2 箇所増設し、引続き拠点回収におけるフードドライブ事業を推進する。
- ・引き続き、市民団体と協働したフードドライブを実施する。また、市民団体のフードドライブの実績やノウハウを生かしたマニュアルを共同して作成・公開し、食品ロス削減に関する市民・事業者の主体的な取組を推進する。

基本目標 3

自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち

■成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019年度)	指標の 性質※	2021年度 実績	目標 (2028年度)
① みどりに対する市民満足度	—%	↑	—	80.0%
② 在来生物の種類数	188種	↑	198種	193種
③ 自然緑化活動等に参加している団体数・参加人数	125団体、 494人	↑	125団体、 396人	125団体、 700人

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性⑤ みどりの充実

■2021年度の主な取組

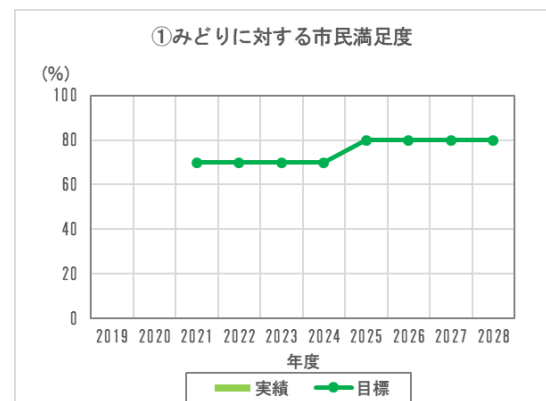
Do

- ・市民団体との協働により花壇や樹木の維持管理に努めるとともに、地域産苗木等の栽培や公園緑地等への植栽を実施した。
- ・公園緑地として新たに開設した今池緑地の一部区域に在来植物の植栽を実施した。



- ・街区公園維持管理協定等により地域住民との協働による公園の維持管理を行った。(街区公園維持管理協定数：87公園、協定数は2020年度より1公園増加。)

Check



①みどりに対する市民満足度は、2024年度までに実施予定の市民意識調査結果により評価する。

■2022年度以降の主な取組

Action

- ・引き続き、市民協働による地域産苗木や在来植物の栽培や植栽、花壇や樹木等の維持管理を実施する。
- ・街区公園維持管理協定等により地域住民との協働による公園の維持管理を実施する。

施策の方向性⑥ 生物多様性の保全

■2021 年度の主な取組

Do

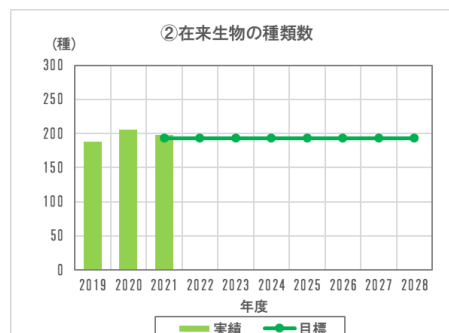
- ・ 昆陽池公園において市民団体や事業者との協働による生物多様性の保全・再生活動に取り組むとともに、生物多様性交流フェスティバルの実施等、展示普及活動に努めた。



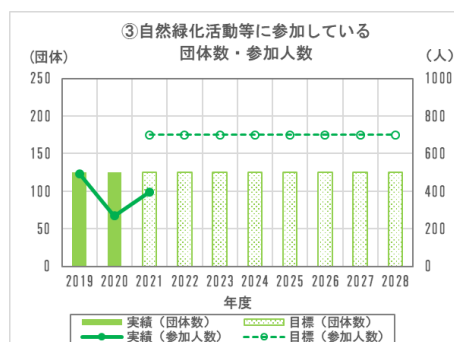
- ・ 県天然記念物「法巖寺大クス」や、国特別天然記念物「オオサンショウウオ」「コウノトリ」の保護を推進した。



Check



② 在来生物の種類数は、前年度に比べて減少したものの、市民団体による自然環境保全活動や調査活動の結果により、2021 年度は単年度目標を達成した。



③ 自然緑化活動等に参加している団体数は、横ばいで推移しており、2021 年度は単年度目標を達成した。一方で、自然緑化活動等に参加している参加人数は、新型コロナウイルス感染症の影響で 2021 年度は単年度目標を達成できなかった。

■2022 年度以降の主な取組

Action

- ・ 引き続き、市民協働による生物多様性の保全・再生活動や自然調査等を継続するとともに、情報の集約や発信を推進する。
- ・ 関係機関と協力し、国及び県の天然記念物の適切な保護を推進する。

基本目標4

良質な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち

■成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019年度)	指標の 性質※	2021年度 実績	目標 (2028年度)
① 環境基準達成率（水質（BOD））	100%	→	100%	100%
② 地域清掃活動支援件数	771件	↑	686件	1,100件
③ 景観に対する市民満足度	79.9%	↑	—	80%
④ 交通ネットワークに対する市民満足度	72.4%	↑	—	73%

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

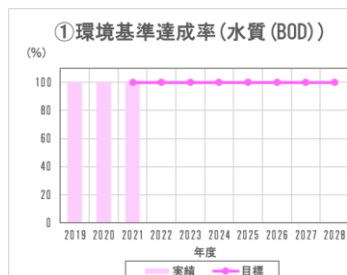
施策の方向性⑦ 生活環境の保全

■2021年度の主な取組

Do

- ・水質、騒音及び振動調査や大気汚染状況、航空機騒音の常時監視を実施し、その調査結果をホームページにて公表した。

Check



①環境基準達成率（水質（BOD））は、100%を維持しており、2021年度は単年度目標を達成した。

■2022年度以降の主な取組

Action

- ・引き続き、水質、騒音・振動調査及び大気汚染状況、航空機騒音の継続した測定と監視を実施し、調査結果をホームページにて公表する。

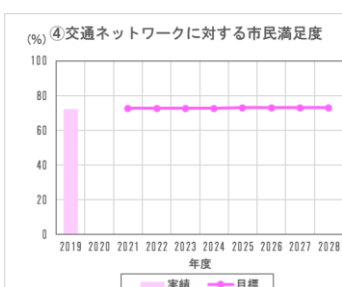
施策の方向性⑨ 安全で快適な道路空間の整備

■2021年度の主な取組

Do

- ・市道昆陽車塚線の区間約400mにおいて、自転車レーンの整備を実施した。また、併せて歩道のリニューアル化や沿道環境に配慮した低騒音舗装(排水性舗装)を実施した。

Check



④交通ネットワークに対する市民満足度は、2024年度までに実施予定の市民意識調査結果により評価する。

■2022年度以降の主な取組

Action

- ・2021年度に行った通学路一斉点検において抽出された危険箇所に対し、電柱幕を取り付けるほか、随時要望のあった箇所について現場確認を行い適宜取り付けを実施する。

施策の方向性⑧ 良質な都市空間と住環境の形成

■2021 年度の主な取組

Do

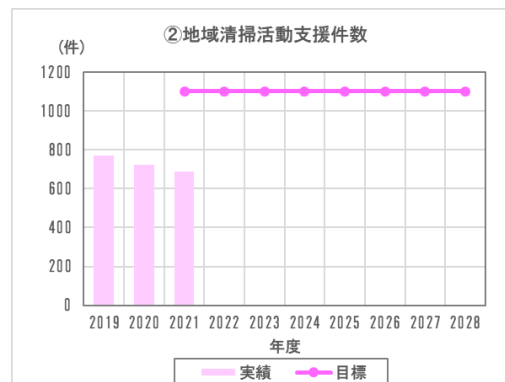
- 自治会等が行う地域清掃活動に対して、ごみの収集や清掃物品の支給等の支援を実施した。(地域清掃活動支援件数：686 件)



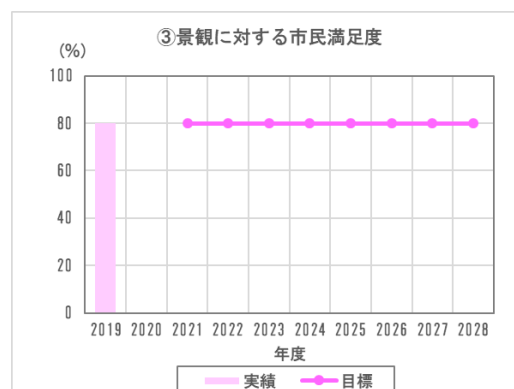
- 広報伊丹による景観意識の啓発、伊丹酒蔵通り協議会主催「光の酒蔵通り Xmas & New Year」のイベント支援、大鹿景観形成協議会の「歴史を伝える案内板」設置費用の一部助成を行った。



Check



②地域清掃活動支援件数は、緩やかな減少傾向にあり、地域の環境美化に寄与しているものの、2021 年度は単年度目標を達成できなかった。



③景観に対する市民満足度は、2024 年度までに実施予定の市民意識調査結果により評価する。

■2022 年度以降の主な取組

Action

- 引き続き、地域清掃に取り組む団体が増えるように、自治会等への周知に努めるとともに、地域清掃活動に対して支援する。
- 引き続き、広報伊丹による景観の意識啓発を図る。また、新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、景観まちづくり団体の活動に対して支援する。

基本目標5

環境意識と協働の輪が広がるまち

■成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019年度)	指標の 性質※	2021年度 実績	目標 (2028年度)
① 環境イベント・講座等に参加した人数	4,969人	↑	11,978人	5,250人
② 緑化や自然保護活動に参加した市民の割合	-%	↑	-	10.0%

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性⑩ 多様な主体が連携協力する体制の推進(重点プロジェクト)

■2021年度の主な取組

Do

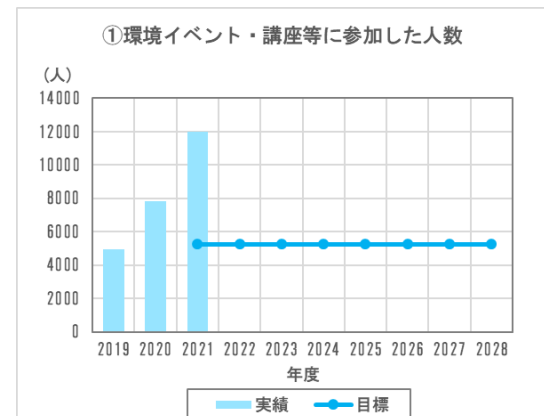
- ・ 伊丹市立子ども文化科学館のプラネタリウム投影、展示施設等における科学教育の普及啓発、Webを活用した月食観望会等、より幅広く教育普及を実施した。



- ・ 民間事業者と連携して「水素」をテーマに、水素自動車の展示や水素実験等の啓発イベントを実施した。(イベント参加者数：3985人)



Check



- ①環境イベント・講座等に参加した人数は、増加傾向にあり、新規イベントの開催等により、2021年度は単年度目標を達成した。

- ・ 市内戸建住宅を対象に、太陽光パネル及び蓄電池設備の共同購入支援事業の募集案内を実施した。(参加登録件数：247件)



みんなの
おうちに
太陽光



■2022 年度以降の主な取組

Action

- ・こども文化科学館でのプラネタリウム投影や企画展だけでなく、出張観望会や Web 活用等でより幅広く市内のこどもたちのための教育普及活動を推進する。
- ・太陽光パネル・蓄電池設備の共同購入支援事業について、さらなるスケールメリットを得るため、基礎自治体間で初めて連携を拡大し、阪神 7 市 1 町・神戸市と連携協定を結び広域で事業を実施します。

施策の方向性⑪ 環境教育・環境学習の推進

■2021 年度の主な取組

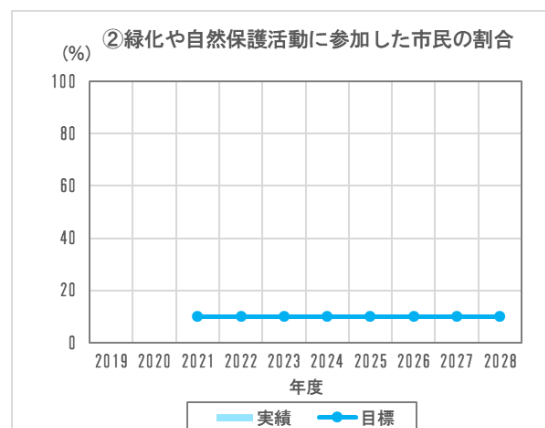
Do

- ・里山・田畑・水辺・身近な地域等における環境体験活動を実施した。(小学校 3 年生: 1815 人、実施回数: 各校 3 回以上)



- ・市内の小中学生を対象に環境問題に関するポスター・標語の募集を行った。(応募件数: ポスター 1,996 件、標語 704 件)

Check



②緑化や自然保護活動に参加した市民の割合は、2024 年度までに実施予定の市民意識調査結果により評価する。

■2022 年度以降の主な取組

Action

- ・環境体験活動として、市内小学校 3 年生を対象に、校区内や地域の田畑での作物の栽培(さつまいも・じゃがいも・たまねぎ・大根・稲等)を実施する。
- ・引き続き、学校等を通じて環境ポスター・標語の募集を実施する。

参考指標の進捗状況

基本目標	施策の方向性	参考指標
【気候変動】 気候変動に対応するまち	①気候変動の緩和策	市域からの温室効果ガス排出量（推計値）（t-CO ₂ ）
		エネルギー消費原単位の低減（％）
		公用車における低公害車の導入割合（％）
		伊丹市営バス利用者数（人）
	伊丹市営バス利用者数／総軽油使用量（人/L）	
	②気候変動の適応策	透水性舗装面積（m ² ）
【循環型社会】 資源が循環する環境に配慮したまち	③廃棄物の発生抑制・再利用等の推進	一人一日当たり家庭系ごみ排出量（g/人・日）
		家庭系ごみ資源化率（％）
		ダンボールコンポストの実施者数（人）
		再生資源集団回収登録団体数（団体）
	事業系ごみ排出量（t）	
	④食品ロスの削減	事業所指導・啓発回数（回）
【自然共生 ・生物多様性】 自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち	⑤みどりの充実	家庭系食品ロスの廃棄量（推計値）（t）
		公園に対する市民満足度（％）
	⑥生物多様性の保全	市域面積に対する永続性のある緑地面積の割合（％）
		生物多様性の認知度（％）
		昆虫館の来館者数（人）
		カラスの個体数（％）
【都市環境】 良好な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち	⑦生活環境の保全	大気・騒音の環境基準達成率（％）
	⑧良質な都市空間と住環境の形成	農地面積（ha）
		都市計画道路の整備率（％）
	⑨安全で快適な道路空間の整備	自転車レーン等整備区間延長（km）
		自転車駐車場利用台数（台）
		放置自転車等台数（台）
		交通安全教室の参加者数（人）
【人づくり】 環境意識と協働の輪が広がるまち	⑩多様な主体が連携協力する体制の推進	こども文化科学館来館者数（人）
	⑪環境教育・環境学習の推進	環境体験学習の年間実施回数（回）
		環境教育実施園割合（％）
		環境ポスター・標語の応募割合（％）

指標の性質	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績
↓	—	—	—
↓	(市長部局) 100.00	99.50	105.07
	(上下水道局) 100.00	99.40	99.10
	(病院) 100.00	99.40	100.29
	(教育委員会) 100.00	105.60	113.10
→	4.96	4.96	5.32
↑	15,270,010	13,289,115	11,908,605
↑	9.7	9.5	8.5
↑	115,308	118,902	123,277
↓	561	566	563
↑	26.5	26.3	26.6
↑	54	58	90
↑	316	314	298
↓	22,534.92	21,214.03	21,268.56
↑	62	73	70
↓	3331	—	—
↑	65.7	—	—
→	19.0	18.9	18.9
↑	29.9	—	—
↑	134,920	94,411	123,872
↓	54	46	58
→	(大気) 100	100	100
↑	(騒音) 83	90	87
→	115.87	113.07	110.1
↑	88.1	88.2	88.6
↑	4.4	5.2	5.6
→	6,865	5,850	5,999
↓	991	599	473
↑	6,258	3,949	4,322
→	47,526	23,186	45,252
→	3	1	3
→	100	100	100
↑	22.0	9.5	16.6



伊丹市マスコット たみまる

itami